月刊 かわごえ環境ネット 2020
かわごえ環境ネット
20周年　持続可能な地球と川越へ→
2021年1月号 No.171　　https://kawagoekankyo.net
2021 年 1 月 1 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

2021 年新年のごあいさつ

小畔川金堀橋から見た富士山

新年のごあいさつ申し上げます。みなさまが 2021 年も健やかであることをお祈りします。

新型コロナウイルスの影響で事業運営の難しい 1 年でしたが、事業を継続させる取組を工夫してきました。今後も現場を重視しながら ICT（情報通信技術）も駆使して、望ましい環境像に向けて歩みを止めずに挑みます。

かわごえ環境ネット理事長　小瀬博之

「川越の自然（新訂版）」出版寄付のお願い

「川越の自然（新訂版）」の体裁

本会設立 20 周年記念誌「川越の自然（新訂版）」の出版に向けて、1 口 1,000 円から寄付を募集しています。1 月 8 日（金）（編集の都合で期限を当初より 1 週間前倒し）までに寄付された方は、本に名前を掲載いたします。（詳細 9-10 面）

目次

コラム　かわごえ環境 STYLE（6）かんきょうサロン 松岡壽賀子さん 2
川越の自然をたずねて（93）巨樹・古木巡り（その 1） 3
社会と環境について思うこと（6）SDGs の考え方を生かした取組に向けて 4-5
川越の「宝」をたずねて（19）三ツ又沼ビオトープ 5
報告　かわごえ環境ネットの活動　歳末まち美化活動 6
会員の活動　「いのち育む有機稲作」稲葉光國先生を偲ぶ（NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ） 7
理事会・専門委員会（3 題） 8-9
予告　かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事（4 題） 9-12
会員・関係団体の主催・関連行事（4 題） 12-13
広報委員会からのおしらせ 13
イベントカレンダー（1 月 1 日～2 月 27 日） 14

【コラム】かわごえ環境 STYLE（6）かんきょうサロン 松岡壽賀子さん

かんきょうサロンの様子

松岡壽賀子さん

このコラムでは、これまで川越内の環境の取組を紹介してきましたが、今回は、かわごえ環境ネット内に目を向けたいと思います。社会環境部会の一員、松岡壽賀子さん。松岡さんが健康と環境とお財布にやさしい生活術の話を行っているのが「かんきょうサロン」。高階南公民館を会場に月に一度開催されています。参加費無料で誰でも参加することができ、事前予約なしで当日直接会場に行って参加できます。

かんきょうサロンでは、参加したみなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端会議のようにお話ししています。「一人でも多くの人が動いたら、減災・防災につながります」と話す松岡さん。テーマは 2 か月ごとに変わり、最近では 10 月が「洋服のリフォーム」、11 月・12 月が「ガス料金について」。公共料金の節約についての話で、そこから発展させ省エネや CO_2 削減の話につなげていきました。洋服のリフォームも定番テーマで、お話だけでなく参加者と一緒に実践も大事にしています。他にも水の汚染の問題意識を持ち続け、「水質分析」のテーマも継続的に扱っています。参加者の声として、『ためになった』『もっと早く来ればよかった』などが寄せられています。

松岡さんのかんきょうサロンは一時中断した時期はありますが、再開後すでに 6 年ほど継続して開催しています。生活に根差したテーマを設定し、参加しやすい雰囲気づくりを心がけています。そして、松岡さんがテーマの奥に大事にしているのが、CO_2 削減の環境問題。どのテーマも CO_2 削減につながる取組としてあり、環境問題を堅い話として伝えるのではなく、生活に密着した身近な話から CO_2 削減を伝える、感じてもらう構成になっています。誰もが自然と環境活動に参加しているようになっているかんきょうサロン。

松岡さんが CO_2 削減の取組を続けるのは、「持続可能な社会を実現するため」「素敵な未来、美しい地球を子どもたちに残したい」という想いから。小さいころから虚弱体質で病弱だった松岡さんは、体調面は常に気がかりな問題でした。30 代後半に飲み水を気にするようになって体調の変化を感じてから、水の問題に取り組むようになった経緯があります。ここから、水質分析のテーマは今でも扱い続けています。

今後のかんきょうサロンのテーマとしては、1 月・2 月は「マイ箸袋作成」。割り箸ではなく「マイ箸」を持ち歩く人が増えている昨今。新型コロナウイルス感染対策としても注目を集めています。テーマの奥にある松岡さんの想いが、マイ箸袋を作ることによって割り箸を減らし、「森林破壊を止めたい」「CO_2 削減」。

3 月は「冷暖房について」。公共料金、電気代やガス・水道料金の節約についての話をします。

気軽に参加してみてはいかがでしょうか。

（内容は変更・中止になる場合があります）

「かんきょうサロン」

高階南公民館 1 階

（川越市藤原町 23-7, Tel. 049-245-3581）

参加費：無料

時間：1・2・3 月 13:00-15:00（詳細は 13 面）

（石川真）

【コラム】川越の自然をたずねて（93）巨樹・古木巡り（その 1）

並木の大クス（川越市並木 277）

川越市には 9 か所に天然記念物として指定されている樹木があります。これらを中心に川越市内の巨樹・古木の一部をご紹介します。多くの特例がありますが、巨樹は基本的には「胸高 130cm の幹周りが 300cm を超えるもの」と定義されています。その多くは神社仏閣にあり、観光を兼ねて巨樹・古木の魅力を堪能されてはいかがでしょう。

1934 年に県指定天然記念物に指定された並木の大クスは、並木大クス公園内にあり、2000 年ごろ 6m であった幹回りは今では 7m を超えています。

松江町のイチョウは出世稲荷神社にあり、市指定天然記念物第 1 号で鯨井のヒイラギとともに 1958 年に指定されました。枝はかなり切られていますが、2 本のイチョウのうちの 1 本は幹周りが 792cm あり、イチョウとしては川越一で、街中にあって堂々と巨樹の威厳を保っています。鯨井のヒイラギも川越一で、幹周りが 230cm あります。

下小坂の白鬚神社にある大ケヤキは、川越一、二の幹周りが 634cm、630cm ある巨樹で、参道を挟んでお寺の力士像のように根元のどっしりとした風貌は見応えがあります。推定樹齢は 500 年ですが、樹勢は盛んです。

推定樹齢 200 年の古市場のヒイラギは、地元の人にとっては大切な古木で、今まで切られることはありませんでしたが、指定された 2000 年以降、痛みがひどくなり、切られて小さくなりました。

幹周りが 236cm のヒヨクヒバは、サワラの園芸種で小枝が細長く糸状に垂れ下がり、イトヒとも言われています。2013 年に指定された砂氷川神社のシラカシとイヌツゲは定樹齢が 300 年近いですが、樹勢は良好で、特に幹周りが 388cm のシラカシは石垣を抱きかかえるように根を張っているのが印象的です。　　（賀登勉）

松江町のイチョウ（松江町 1-7-1）

鯨井のヒイラギ（鯨井 1840）

下小坂の大ケヤキ（下小坂 1002）

古市場のヒイラギ（古市場 192-4）

笠幡浅間神社のヒヨクヒバ（笠幡 1977）

砂氷川神社のシラカシ（砂 640）

【コラム】社会と環境について思うこと（6）SDGs の考え方を生かした取組に向けて

2030 年までの持続可能な開発目標である SDGs が日本においても徐々に浸透してきています。川越では 10 月に開催された「アースデイ川越 in 昭和の街 2020」において、SDGs を身近に感じてもらうための企画が開催され、SDGs のロゴが昭和の街の通りを彩りました。また、行政にも動きがあります。川越市では来年度策定される「第四次川越市総合計画 後期基本計画」において SDGs の視点を意識して今後の施策を展開していくことが明記される予定です。

今回のコラムではこのように SDGs が少しずつ広まっていく中で、改めて SDGs に表現されている考え方やその特徴について筆者が思うところを整理することにより、SDGs の理解を少しでも深めていければと思います。

①バックキャスティングの考え方

SDGs は 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。そして、各ターゲットの多くは、2030 年にこのような状態になっていてほしいあるいはなるべきであるということが明記されています。たとえば、ゴールの 1.「貧困をなくそう」のターゲット 1.1 では、「2030 年までに、現在 1 日 1.25 ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。」となっています。

このように SDGs では、現在の状況から未来を積み重ねていくフォーキャスティングの考え方ではなく、こうありたい未来あるいはこうあるべき未来から逆算して、今私たちに何ができるか、そして何をすべきかを考える「バックキャスティング」の思考がとられています。私たちは往々にして、現在の状況から未来を考える方法をとってしまうと、どうしても目の前にあるしがらみで動きが止まってしまうことや、短期的な視野での問題解決のみに陥りがちです。そうではなく、バックキャスティングで目標を設定することにより、中長期的な視点から私たちがどういった方向に舵をきればいいのかの判断がつきやすくなります。

このバックキャスティングの考えを、たとえば、川越の自然をどうしていこうというテーマにも生かせるのではと思っています。たくさんの人々が抱くこうあって欲しい自然のあり方や、未来の子どもたちに残したい自然を描いていくことが、今、目の前にある障害を乗り越えたうえでの望ましい環境像をつくっていけるのではと考えています。

②分野を超えたつながり

続いての SDGs の特徴は「分野を超えたつながり」です。SDGs では 17 のゴールが掲げられており、これらのゴールは、社会・経済・環境のそれぞれの視点から構成されています。これはそれぞれの個別分野での課題の把握と解決策を考えるのではなく、全体で物事をとらえることの重要性を感じます。気候変動などの世界的課題に対してや、経済的発展だけを目指した社会設計ではどうも立ち行かなくなってきており、各分野の相互性や社会・経済・環境のバランスを考慮に入れた発展をしていこうという認識が現れています。

このように SDGs の 17 のゴールに表現されている部分と全体を同時に考えることがこれからは必要となってくるでしょう。そして、この分野を超えたつながりが、これまでとは異なる取組を生み出すきっかけになるはずです。農福連携や子どもの貧困への対応、身近な自然を活用した環境教育の充実など私たちの住む都市の中でもこういった動きが、生まれ、育まれています。

③日常から世界へのスケールを意識すること

最後に SDGs から得られる重要な考え方に、スケールを意識することがあります。SDGs が徐々に広まっていく背景に、身近にできることからチャレンジしていこうという、フレーズがよく言われます。身近にできることの次には、自分たちの住んでいるコミュニティでできること、もう少し広げて都市レベルでできること、日本という国でできること、そして世界ででき

ること、といった具合に向き合っている課題のスケールを広げていくことが、SDGs の視点から物事をとらえることでできるのではと思っています。

たとえば、日常生活での水やエネルギーの使い方から地球環境問題への連続性や、川越という都市における生物の多様性を保全していくことがスケールをあげていくことで世界的な生物多様性の保全へと視野を広げることにつながっていきます。かわごえ環境ネットのように地域に根差した団体としては、身近なスケールから世界のスケールを意識しつつ、地域レベルでの課題に取り組んでいければと考えています。

（社会環境部会　増田知久）

【コラム】川越の「宝」をたずねて（19）三ツ又沼ビオトープ

三ツ又沼

総合案内板

観察路（木道）

コラム“川越の「宝」をたずねて”は、かわごえカフェ 2019 のテーマ､｢川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は､「三ツ又沼ビオトープ」

川越市と上尾市と川島町の 3 つの市と町のちょうど境に位置するのが三ツ又沼ビオトープです。昔、ここは荒川と入間川が合流していた場所で、昭和初期、洪水を防ぐために川の流れを付け替えた際の流れの一部が残り、今も乾くことなく湿地と沼として荒川の自然を残しています。

自然観察路の木道が整備されている 13ha に及ぶ三ツ又沼ビオトープは、湿地を好むハンノキやタチヤナギといった植生、またその樹液や葉を求めて昆虫が集まり、野鳥も集まる生態系を成し自然観察も楽しめます。

この三ツ又沼ビオトープは、月刊かわごえ環境ネット 2020 年 10 月号（No.168）の「川越の自然をたずねて（90)」（4 面）にて詳細に紹介していますのでそちらをご覧ください。

川越市は、中心街から離れた郊外には自然豊かな場所が豊富にあります。その一つがこの三ツ又沼ビオトープといえるでしょう。駐車場も整備されており、日々の都市生活から離れて車で少し走ったところに、鳥や生き物が主役となる自然が残っているのは、都心に近く、かつほどよい田舎もある川越の長所ではないでしょうか。四季折々の風景が楽しめるスポットです。

三ツ又沼ビオトープへのアクセス

川越駅東口より東武バス「上尾駅西口」行（川越 06）にて「入間大橋」バス停より徒歩 20 分
車の場合は､関越自動車道｢川越 IC｣より 24 分、圏央道「川島 IC」より 23 分。　（飯島希）

国土交通省荒川上流河川事務所：三ツ又沼ビオトープ

川越の「宝」全データの KML ファイル（ダウンロード）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

歳末まち美化活動（12 月 20 日）

集合写真

2003 年に始まった中心市街地の歳末まち美化活動、19 回目の今年は 12 月 20 日（日）に実施、天気は晴天で風なし。

今年は、コロナウイルス感染拡大により不要不急の外出自粛、参加者は活動地域に住むかわごえ環境ネット会員 5 名に限定し行いました。

10:00 に本川越駅前交番前に集合し活動を開始、まち美化活動のゼッケンは着けずに、空きかん・紙くず・たばこなどを拾いながら、師走の市内中心部を回り、中央公民館でごみの分別作業を行い、歓談して解散しました。

ごみ拾いは、まち美化の効果とともに、屈伸や歩行を行うことにより、エクササイズ（exercise ：英語で運動の意）の効果もあります。

来年は、コロナウイルス感染拡大が収まり、多くの方々が活動に参加できることを望んでおります。よろしくお願いいたします!!

（歳末まち美化活動担当　菊地三生）

蔵造りの町並み（一番街）で

中央公民館で分別作業

成果を前に集合写真（息を止めました）

◆かわごえ環境ネット会員募集（1 月から 3 月の入会は年度内の会費無料）

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報を毎月郵送とメールでお届けします。また、委員会（部会）、研修など会員限定の活動に参加できます。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です（1 月から 3 月はお試し期間で会費は次年度から）。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト（https://kawagoekankyo.net）へ。

【報告】会員の活動

「いのち育む有機稲作」稲葉光國先生を偲ぶ　　NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

稲の生育診断を教える稲葉光國先生

かわごえ里山イニシアチブが長年「いのち育む有機稲作」で指導をいただいていた稲葉光國先生が、12 月 11 日の早朝に急逝されました。

稲葉先生は、日本での無農薬栽培農法を科学的に研究して、その理論と実践を確立され、佐渡のコウノトリ、豊岡のコウノトリ米、千葉県いすみ市の全量無農薬米給食を可能にするなど、日本の有機稲作の草分け的存在で第一人者として活躍されました。

そして、ネオニコチノイド系の農薬の使用とともに、劇的に激増していった子どもたちの精神疾患に心を痛め、講演のたびに子どもたちの将来を懸念され、学校給食の無農薬有機米に渾身の力を注がれていました。その代表的な事例が、千葉県いすみ市の全量有機米の学校給食化で、2018 年、その研修会もかわごえ環境ネットで行われました。

国内はもとより、無農薬有機農法のビジョンを掲げた幸せの国ブータンにも手を差し伸べられ、これまで 3 年間ブータン国での有機米栽培プロジェクトにも力を注がれ成功を収められました。かわごえ里山からもこのプロジェクトに会員が参加しました。

稲葉先生の農法は、特別なものではなく植物や生きものの生態を科学的に観察して解き明かし生態系の力を活用する方法でした。無駄に生きものを殺さない、自然の生態系を壊さない、これはまさしく地球環境を守り、人にも環境にも優しい持続可能な農業でした。

また、雑草との闘いを決して除草とは言わず抑草と呼ぶ心優しい指導者でもありました。

かわごえ里山イニシアチブでは、2015 年の「かわごえ里山 2015 田んぼフォーラム」の講演会を皮切りに、第 1 回「種まきから育苗管理」、第 2 回「抑草・収穫までの管理」、第 3 回「稲の生育診断」と稲の生育に合わせて 3 回シリーズの有機稲作ポイント実地研修を行いました。

このポイント研修は「いのち育む有機稲作 循環型有機農業のすすめ」として DVD と 1 冊のテキストにまとめられ、この 9 月に贈られてきました。11 月下旬の田んぼ勉強会で稲葉農法の勉強会を行った矢先の訃報でした。これらは稲葉先生のこれまでの貴重な研究の成果と想いが込められた遺作となりました。

かわごえ里山イニシアチブは、引き続きいのち育む有機稲作に挑戦し、稲葉先生の遺志を引き継ぎ、生きものにやさしい農法で子どもたちを守り、人と自然が共存する新しい環境が創造される社会に貢献していきたいと思います。

稲葉光國先生のご冥福をお祈りします。

（増田純一）

研修の様子（種まき）

研修の様子（育苗）

研修の様子（抑草の座学）

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

12 月 16 日（水）9:00-10:00 に第 8 回事業運営委員会、10:00-12:05 に第 9 回理事会を開催しました。両者は関連しているので、合わせて主要な事項を報告します。

①新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針

標記の行動方針を 12 月 16 日付で改定しました。具体的にはホームページ（https://kawagoekankyo.net/news/003185.html）をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針（2020 年 12 月 16 日改定）

②第 19 回かわごえ環境フォーラムについて

2 月 27 日（土）に開催する「第 19 回かわごえ環境フォーラム」について、事前準備と当日のタイムスケジュール・キャスティングの検討を行いました。また、環境活動報告集・報告会また協賛の申込状況を確認しました。

実施形態については、今後の新型コロナウイルスに伴う状況によりさまざまなケースを想定していますが、オンライン同時配信については実施することにしています。1 月 20 日の次回理事会で決定する予定です。

現時点で具体的におしらせする事項は、本紙 11 面の「トピック②」をご覧ください。

③設立 20 周年記念出版について

寄付の状況を確認しました。引き続き寄付を募集しています。詳しくは本紙 9-10 面の「トピック①」をご覧ください。冊子の完成後、地元メディアに向けて広報を行うことにします。

④歳末まち美化活動について

歳末まち美化活動について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一般の参加を中止し、少数のスタッフのみで実施することが報告されました。実施報告は本紙 6 面をご覧ください。

⑤会員動向

個人 2 名が入会し、12 月 16 日現在の会員数は、個人 142、民間団体 24、事業者 25、行政 1 の合計 192 会員となりました。

⑥その他

「越えていこう、川越」ポスターができました。今後、イベント等で掲出します。

（小瀬博之）

社会環境部会

12 月の社会環境部会の例会は、11 日（金）に福田ビル 3 階にて 10 名の参加で開催されました。今回も新型コロナウイルス予防のため、マスクを着用し、座席の間隔を空け、換気をしながらの実施となりました。

今回の例会のはじめには、パブリックコメントを募集している「第四次川越市総合計画（後期基本計画）」についての意見交換を行いました。かわごえ環境ネットのメンバーの関心が高い SDGs や自然環境保全、気候変動対策、オーガニック農業の推進などのテーマについて、川越市の方向性の確認を行い、各メンバーの考えを共有しました。

全体事業に関しては、12 月 20 日（日）に実施予定の歳末まち美化活動について、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮したうえで実施を検討していこうとの意見がありました。

例会の後半一時間は、来年度の社会環境部会の活動について活発にディスカッションを行いました。環境問題に関する勉強会の充実や SDGs 関連のワークショップの企画開催、環境講演会の開催回数の拡大、緑地保全に向けて社会環境部会でできることの検討など、様々なアイデアが出てきました。1 月も引き続き、これからの社会環境部会の活動アイデアについて話し合う場を設けたいと考えています。

2020 年もいよいよ終わりです。本格的な寒さの到来とともに新型コロナウイルスの拡大が懸念される状況にありますが、健康第一で年の瀬を迎えることができればと思います。

（12 月 19 日入稿、
社会環境部会代表　増田知久）

自然環境部会

12 月例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 9 名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例活動
11 月 23 日（月）17 名参加　川越フォレストクラブと連動して活動する手入れ地の植物調査と林床片付け　12 月 14 日（月）19 名参加　前回と同じエリアの手入れ　ここは周辺にある市民農園などから野菜くずが常に放棄され、荒れていたがだいぶ片付いた。サネカズラ（ビナンカズラ）の真っ赤な 5cm にもなる実があった。本来は植生の豊かなところ。

②池辺公園定例活動　12 月 8 日（火）9 名参加
ハグロソウのエリア草刈り

2. 協議事項

①ナラ枯れ被害木への対応について　調査やできる範囲の対処に協力する

②かわごえフォーラム原稿の投稿について

③来年度の計画について

（自然環境部会代表　賀登環）

予告の掲載に際して重要なおしらせ

新型コロナウイルスの感染状況により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ（https://kawagoekankyo.net）でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック①】かわごえ環境ネット設立 20 周年記念誌「川越の自然（新訂版）」寄付のお願い

寄付の趣旨

川越市環境基本計画に基づき市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報共有や調整を図るための組織として 2000 年 8 月 5 日に設立されたかわごえ環境ネットは、今年度設立 20 周年を迎えました。これを記念する事業として、「川越の自然（新訂版）」の発行をめざして編集会議を開催し、検討を重ねているところでございます。

本が発行されましたら、市内の小中学校や公共施設に寄贈するとともに、自然に関心のある方などに有効活用していただきたく 3,000 冊作成する予定です。製作費は 160 万円を予定しており、サイサン環境保全基金から 50 万円の補助金をいただけることになりましたが、残りの 110 万円を準備しなくてはなりません。当初クラウドファンディングでの資金調達を考えておりました。しかし、このコロナ禍の中、多岐にわたるクラウドファンディングの募集が増えている状況を鑑み、クラウドファンディングではなく、設立 10 周年記念誌と同様の寄付をお願いすることとしました。寄付をしていただいた方は、あとがきに氏名を明記するとともに、本の贈呈をさせていただきます。

諸事情ご賢察のうえ、多数のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

かわごえ環境ネット
理事長・設立 20 周年記念事業実行委員会委員長
小瀬博之
同出版専門委員会委員長
賀登環

寄付の要項

1 口 1,000 円で 1 冊贈呈　発行後（2021 年 2 月を予定）、直接お渡しまたは郵送でお送りいたします。また、本の巻末に氏名を明記します。氏名の掲載のためには、1 月 8 日（金）までに振込を完了している必要があります（おことわり：編集の都合により 12 月号でお伝えしていた期限より 1 週間前倒しになりました）。

寄付の方法

2 つの方法を設けます。①かわごえ環境ネット主催行事（会議、講演会、保全活動）などにおいて、本会の理事が寄付申込書（下記ホームページからダウンロードできます）と寄付金をお預かりします。②インターネットを通した寄付を実施します。申し込みフォームに必要事項を記入していただくともに、「PayPay」「d 払い」の送信機能（手数料無料）「ゆうちょ銀行」の振替（手数料送信者負担、ただしゆうちょダイレクトであれば月 5 回まで無料）で理事長の小瀬に送金を行っていただくことで手続きが完了します。詳しい方法は、本会設立 20 周年記念事業ホームページをご覧ください。

かわごえ環境ネット設立 20 周年記念事業
https://20th.kawagoekankyo.net

【Update!】本の体裁・内容

前版は B6 版でしたが、新訂版は A5 版となり、フルカラー180 ページとなります。文章や写真、地図、データをかなりの部分で更新しています。

（仮称）川越市森林公園計画地では、千木良宣行氏が現地で描かれた絵を掲載しています。また、本紙 3 面のコラムで掲載した「巨樹・古木巡り」も掲載します。

なお、編集段階のため、目次や内容は変更の可能性があります。

「（仮称）川越市森林公園」計画地の四季（春）

「（仮称）川越市森林公園」計画地の四季（秋）

目次（予定）

1.川越のあらまし
川越の自然環境の特徴
川越の自然ポイントマップ
2.武蔵野の雑木林
「（仮称）　川越市森林公園」計画地
市民の森
ふるさとの緑の景観地
雑木林の遊びかた
3.川越の河川と沼
荒川、入間川、小畔川、新河岸川他
川の遊びかた
4.川越の公園と緑地
川越水上公園、なぐわし公園他
5.川越の湧水
6.社寺林・巨樹古木を訪ねて
7.生き物の調査記録
8.ミニ図鑑・統計

【トピック②】速報「第 19 回かわごえ環境フォーラム」2 月 27 日（土）開催

2 月 27 日（土）9:30-16:30 にかわごえ環境ネット設立 20 周年記念事業のメインイベント「第 19 回かわごえ環境フォーラム」を開催します。

本号は速報として、予定されている実施内容をおしらせします。

会場とオンライン同時配信のハイブリッド開催

会場はウェスタ川越（市民活動・生涯学習施設 会議室 1・2、川越市新宿町 1-3-1）となりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンライン同時配信（YouTube ライブ）で実施します。

来場（事前申込必要・人数制限あり）・オンライン視聴（申込不要）ともに参加費無料です。

午前の部「個人・団体の環境活動報告会」
https://youtu.be/NDjH6guvk14

午後の部「設立 20 周年記念出版・講演会／シンポジウム」
https://youtu.be/EKaDeZLX3d4

プログラム（予定）

①午前の部：個人・団体の環境活動報告会（9:30-12:00）

同日に発行する「かわごえ環境活動報告集」に投稿された個人・団体による環境活動報告会を開催します。

②午後の部（その 1）：設立 20 周年記念出版・講演会（12:50-14:50）

設立 20 周年記念誌「川越の自然（新訂版）」の出版報告とともに、牧野彰吾氏（NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物調査団 代表理事）の記念講演会を行います。

なお、会場において設立 20 周年記念誌「川越の自然（新訂版）」を有料頒布する予定です。

③午後の部（その 2）：設立 20 周年記念シンポジウム「川越の環境を語る～これまでの 20 年、これからの 10 年～」（15:00-16:30）

かわごえ環境ネットの 20 年のあゆみを振り返りながら、川越の環境に関するこれまでの 20 年とこれからの 10 年をパネリストが語ります。

今後の対応（2 月号で詳細を掲載）

新型コロナウイルス感染拡大等に伴い、開催形態が変更となる可能性があります。実施内容、開催形態、参加申込などの詳細は、1 月 20 日の理事会で決定後、かわごえ環境ネットホームページ及び本紙 2 月号でお伝えします。

かわごえ環境フォーラム（https://forum.kawagoekankyo.net）

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：1 月 11 日・25 日，2 月 8 日・22 日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 2 火曜日、変更の場合もあります）

日時：1 月 12 日，2 月 9 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

会合

◆広報委員会（2021 年 1 月度）
日時：1 月 6 日（水）9:00-9:30
オンラインミーティング（委員には別途案内）
＊次回は 2 月 3 日（水）9:00-9:30 オンラインミーティング

●社会環境部会（2021 年 1 月度）
日時：1 月 8 日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）
＊次回は 2 月 12 日（金）13:00-15:00 同所
＊会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2021 年 1 月度）
日時：1 月 8 日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 2 月 12 日（金）15:00-17:00 同所
＊会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2020 年度第 9 回）
日時：1 月 20 日（水）9:00-10:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 2 月 17 日（水）9:00-10:00 同所

◆理事会（2020 年度第 10 回）
日時：1 月 20 日（水）10:00-12:00
場所：福田ビル 3 階会議室
次回は 2 月 17 日（水）10:00-12:00 同所

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域づくりを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.com にお問い合わせください。

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

◎マコモの葉でドンド焼き
日時：1 月 10 日（日）10:00-13:00
場所：マコモ田んぼ（川越市福田）
主催：山田田園環境保全推進グループ
協力：かわごえ里山イニシアチブ
参加費：実費を予定しています。

マコモの枯葉集め農作業後、焚火で焼き芋や本格的な繭玉作りなど、今では珍しいドンド焼きの伝統行事を復活させます。

◎田んぼ懇談会
日時：1 月 23 日（土）16:00-18:00
場所：ウェスタ川越 南公民館（予定）
定員：15 名限定（会員、非会員、どなたでも参加可能です）

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日
日時：1 月 5 日（火）・15 日（金），2 月 2 日（火）・19 日（金）13:30-15:00
川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日
日時：1 月 10 日・2 月 14 日（日）9:30-11:00
本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日
日時：1 月 23 日・2 月 27 日（土）13:30-15:00
川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅ま

で。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①1 月 24 日（日）9:00-11:00 新河岸川上流域

観音下橋横集合。黄金橋まで両岸清掃。指定された収集場所で分別まとめて解散。

②2 月 28 日（日）9:00-11:00 新河岸川中流域

貝塚橋右岸横集合。田島橋まで両岸に沿ってごみ拾いと河道の観察。収集管理に連絡した近くの空き地に集合、分別して解散。

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」

会場：高階南公民館 1 階（川越市藤原町 23-7）

参加費：無料

かんきょうサロンでは参加された方みなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端会議のようにお話ししています。1 人でも多くの人が動いたら、減災・防災につながります。

①1 月 14 日（木）13:00-15:00, ②2 月 4 日（木）13:00-15:00 マイ箸袋作りを中心に

コロナ禍なので、マイ箸持参で少しでもリスク減らしましょう！　森林破壊を止めるためにも箸袋を作っています。

持ち物：25cm 四方の布またはハンカチ、裁縫道具

③3 月 15 日（月）13:00-15:00 冷暖房について

公共料金…電気代や水道料金の節約についての話をしています。

持ち物：直近 2～3 か月分の電気・ガス・水道の料金票

＊日程等は諸事情により変更・中止になる場合があります。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、雨天中止）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

①1 月 10 日（日）10:00-12:00

毎年行う、ガンカモ調査の日です。長年続けることで、環境の変化がわかります。あなたも参加してください。

②2 月 14 日（日）10:00-12:00

一番寒い時期です。沼は凍って氷の上で、カモのおもしろい行動が見られます。葉の落ちた公園で冬鳥を観察します。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2021 年 2 月号（No.172，2 月 2 日発行予定）の掲載原稿は、1 月 15 日（金）締切（必着）です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

○おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（1 月 1 日～2 月 27 日）

新型コロナウイルスの感染状況によりかわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください					1.1 元日	1.2
1.3	1.4	1.5 ◎13:30 まち美化啓発運動	1.6 ◆9:00 広報委員会	1.7	1.8 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会 〇「川越の自然」寄付（誌面記載期限）	1.9
1.10 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング ◎10:00 マコモの葉でドンド焼き	1.11 成人の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	1.12 ★9:00 池辺公園定例活動	1.13	1.14 ◎13:00 かんきょうサロン	1.15 ◎13:30 まち美化啓発運動 〇本紙 2 月号投稿期限	1.16
1.17	1.18	1.19	1.20 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	1.21	1.22	1.23 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 田んぼ懇談会
1.24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	1.25 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	1.26	1.27	1.28	1.29	1.30
1.31	2.1	2.2 ◎13:30 まち美化啓発運動	2.3 ◆9:00 広報委員会	2.4 ◎13:00 かんきょうサロン	2.5	2.6
2.7	2.8 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	2.9 ★9:00 池辺公園定例活動	2.10	2.11 建国記念の日	2.12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2.13
2.14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	2.15 〇本紙 3 月号投稿期限	2.16	2.17 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	2.18	2.19 ◎13:30 まち美化啓発運動	2.20
2.21	2.22 ★9:30（仮称）川越市森林公園雑木地植物調査・保全活動	2.23 天皇誕生日	2.24	2.25	2.26	2.27 ★9:30 かわごえ環境フォーラム ◎13:30 まち美化啓発運動

発行日　2021 年 1 月 1 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　https://kawagoekankyo.net/